



## ひとのうごき (敬称略)

### ■ やすらかに

死亡日	氏名		
1/31	遠山 剛	(柳の江)	
2/11	緒方 千ズ子	(立石)	
2/11	岩崎 博隆	(河原)	
2/11	吉村 久美子	(東網道)	
2/13	橋本 國雄	(高野道)	
2/14	野田 友義	(島地)	
2/14	村上 ミツエ	(法道寺)	
2/15	秋山 邦雄	(町)	
2/15	米崎 マツメ	(西野津)	
2/16	林田 スミエ	(北野津)	
2/17	米村 賢一	(若洲)	
2/20	秋山 スミ子	(今)	
2/22	濱田 弘子	(南鹿野)	
2/24	宮川 ヨシノ	(北野津)	

### ■ すこやかに

出生日	氏名		父	母
2/ 3	ふたみ 二見 心覇	(下鹿島)	柊成	正美
2/ 4	さいとう 斉藤 真鳳	(中網道)	馨司	美穂
2/ 8	みやま 宮嶋 柊月	(新村北)	洋揮	萌
2/ 9	のむら 野村 柚月	(町)	剣	純花
2/10	うえだ 上田 二葉	(若洲)	昂志	千絵
2/25	ほんだ 本田 悠羽	(高塚)	博士	冬子

### ■ おしあわせに

届出日	夫	妻
2/22	清田 忍 (高塚)	稲生 愛 (熊本市)
2/22	白石 瑛 (宇城市)	田中 紀香 (新田)
2/22	松田 健志 (高塚)	依 友恵 (南鹿野)

### ■ 人口 (前月比) (令和2年3月1日現在)

男性	5,423	(- 13)
女性	6,323	(- 21)
総数	11,746	(- 34)
世帯数	4,555	(- 10)

( )内は前月比

※「ひとのうごき」への掲載を希望される人は、町民課または、宮原振興局地域振興課へ「掲載依頼書」を提出してください。

問 町民課 戸籍環境係 ☎0965-52-5851

### ■ 氷川町の火災・救急件数 (R2年1月からの累計)

2月29日現在	火災	救急
氷川町	0	105

### ■ 熊本県内の交通事故件数・死傷者数 (R2年1月からの累計)

2月29日現在	件数	死者	傷者
熊本県内	605	10	757
氷川町	1	0	1

## も く じ

- 1 表紙
- 2 もくじ／ひとのうごき
- 3 令和2年度施政方針
- 6 第2期氷川町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定しました
- 9 まちのわだい
- 12 熊本県市町村広報担当者による合同特集～オリンピック聖火リレー今昔物語～
- 14 すくーるらいふ (宮原小学校)
- 16 後期高齢者医療保険料・国民健康保険税のお知らせ
- 18 熊本地震の支援策に係る申請期間が延長されました!
- 19 地域学校協働活動本部だより
- 20 けんこうだより
- 21 暮らしの情報
- 26 立神峡だより
- 27 町民文芸
- 28 人権啓発コーナー／定住自立圏イベント情報
- 29 氷川町の監査委員って??／定住自立圏イベント情報
- 30 八火図書館だより／伝言板
- 31 4月カレンダー／中止イベントのお知らせ
- 32 ひかわっ子写真館／休日在宅医

### —— 今月の表紙 ——



3月13日(金)に行われた氷川中学校の卒業証書授与式。31人が3年間過ごした学び舎に別れを告げました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休校や卒業式の規模縮小など余儀なくされましたが、感動の涙と笑顔であふれた素晴らしい卒業式でした。

# 令和2年度施政方針 「持続可能な町政運営をめざした行財政改革」



▲3月議会で施政方針を述べる藤本町長

桜花爛漫の季節を迎え、皆さまにはご清祥のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が世界各国、国内において拡大しておりますが、皆さまには予防を徹底して頂きますとともに、地域経済への影響を考えますと一日も早い終息を心から願っております。

さて、政府においては、令和元年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」で示された「新経済・財政再生計画」の枠組の下、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組みとし、義務的経費については、前年度当初予算額を上限とし、可能な限り歳出抑制を図ることとしています。

地方創生については、地方における経済の好循環の端緒が見られる中、都市部だけではなく日本全国でSociety 5.0の実現を促

進し、豊かで暮らしやすい地方を実現していくとしており、地方への新たな人の流れを創出するとともに、地域外から人・カネ・サービスを自律的に引き寄せるための取組みが求められています。

また、熊本県では、令和元年8月に公表された「中期的な財政収支の試算」において、令和3年度から令和5年度までの間に各年度83億円から95億円の財源不足が見込まれるとしています。引き続き財政健全化に取り組み、これまで以上に将来負担を意識した予算編成とすため、過去の実績・前例

によることなく、既存事業の進捗調整、廃止、休止を含めた大胆な見直しを行い、必要不可欠な取組みへの重点化を図ることとしています。

甚大な被害をもたらした熊本地震から約4年が経過しましたが、

本町では職員一丸となった復旧・復興への取組みにより、震災前の状態を取り戻すとともに、各種計画に基づく行財政改革に積極的、継続的に取り組み、行政運営の効率化と財政健全化に一定の成果を上げてきました。

平成30年度決算による歳入の状況は、依存財源である地方交付税が歳入総額85億5,647万4千円の33.2%（28億4,233万4千円）を占めている一方、自主財源の柱である町税はわずか11.3%（9億7,006万円）しかなく、地方交付税や各種交付金に頼らざるを得ない財政状況となっております。今後この依存財源主体の歳入構造が大きく変化する要素は見当たりません。

しかも、本町は既に普通交付税の合併算定替の段階的削減期（4年目）に入っており、7割が縮減

となった令和元年度においては、約1.6億円の影響がありました。同水準の算定で推移した場合、令和2年度で約2億円、合併算定替が終了する令和3年度には約2.3億円の減収となる試算であり、今後、歳入における一般財源総額の増加は見込まれません。

段階的削減に備えた財政調整基金の残額は、平成30年度末で2億5,222万1千円と前年度に比べ約0.8億円増加しているものの、財政調整基金を取り崩さなければ予算が組めない状況は依然として続いており、一般財源歳出の抑制を急がなければ、基金が早期に枯渇する恐れがあります。

また、歳出面の見通しとしては、投資的経費において橋梁長寿命化計画に基づく改修事業、県営氷川排水機場整備事業、防災公園整備事業などが計画されていることか

3 広報ひかわ 2020.4